

令和6年10月18日

報道機関各位

青森県消防学校

第42回消防職員専科教育救助科における校長査閲の実施について

令和6年10月2日から青森県消防学校で実施している「第42回消防職員専科教育救助科」のカリキュラムの一環として、下記のとおり、校長査閲（訓練成果の点検）を実施します。

この訓練は、火災及び交通事故のほか、地震により建物が倒壊した場合や、豪雨による河川の氾濫など、実際に起こり得る災害を想定した実践的な訓練内容となっております。

このような訓練を公開することで、県民の方々の消防に対する理解と関心を深めていただくとともに、救助科学生が消防人としての士気高揚を図りたいと考えておりますので、訓練当日の取材方についてよろしくお願ひします。

なお、青森県内の女性消防職員として初めて、弘前消防本部から入校しておりますので、積極的な取材方についてよろしくお願ひします。

記

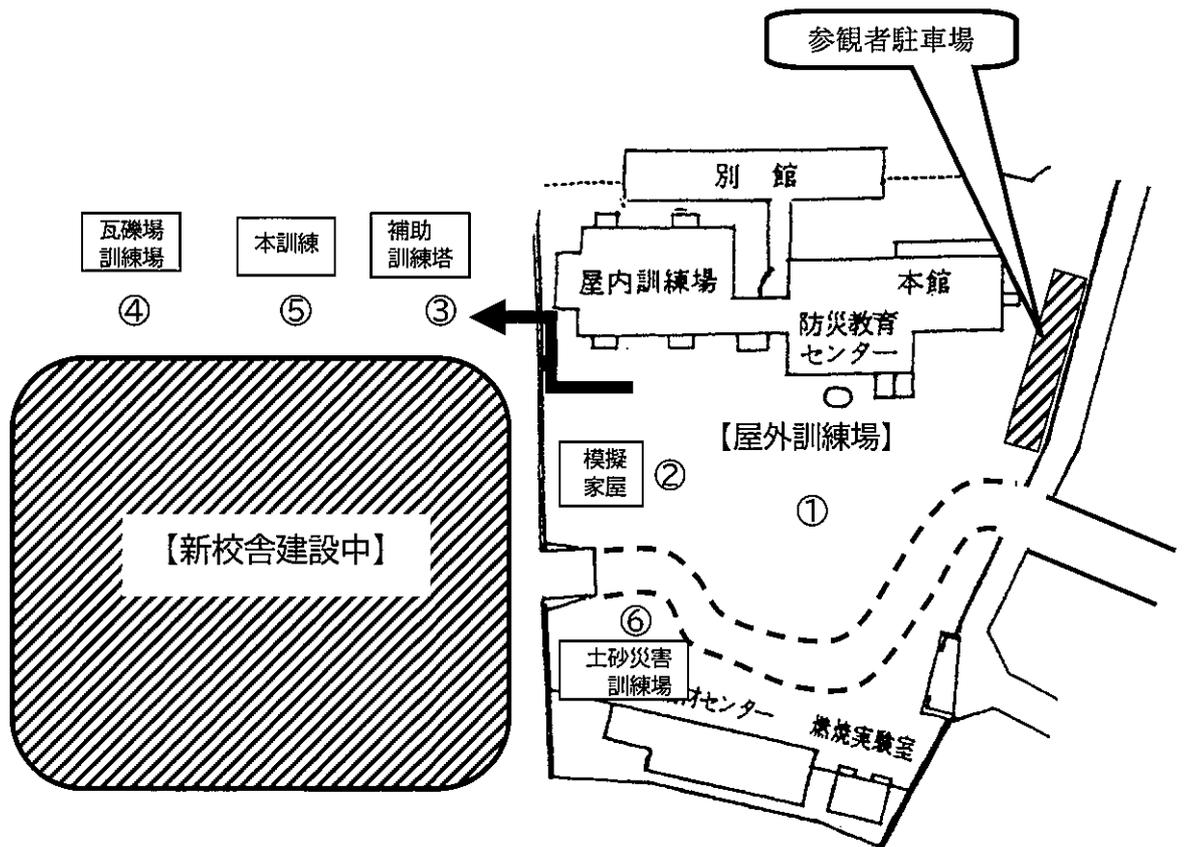
- 1 日 時 令和6年10月24日（木）13時30分から16時30分まで
- 2 場 所 青森県消防学校 屋外訓練場ほか
（青森市大字新城字天田内183-3）
- 3 訓練実施者 救助科学生（県内各消防本部の消防職員）31名（うち女性消防職員1名）
- 4 実践的救助訓練の名称 「校長査閲」（校長による訓練成果の点検）
- 5 実施内容（次第）【詳細は別添のとおり】
 - (1) 13:30 訓練開始報告
 - (2) 訓練開始
 - 13:40 ① 交通事故からの救助
 - 14:10 ② 火災からの救助
 - 14:40 ③ 山岳事故による救助
 - 15:10 ④ 地震による倒壊家屋からの救助
 - 15:40 ⑤ 中州（河川）からの救助
 - 16:10 ⑥ 土砂災害からの救助
 - (3) 16:30 訓練終了報告及び校長（査閲者）講評

【※雨天でも実施。ただし、警報が発令されている場合などは、中止する場合あり。】

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	青森県消防学校教務課 副校長 田名部 尚
電話番号	直通：017-788-4221
報道監	危機管理局 次長 佐藤 広之

校長査閲次第

- 1 開始報告…………… 13時30分
- 2 各種訓練
 - (1) 交通救助訓練…………… 13時40分 ①屋外訓練場
 - (2) 火災救助訓練…………… 14時10分 ②模擬家屋
 - (3) 山岳救助訓練…………… 14時40分 ③補助訓練塔
 - (4) 震災救助訓練…………… 15時10分 ④瓦礫場訓練場
 - (5) 対岸救助訓練…………… 15時40分 ⑤本訓練塔
 - (6) 土砂災害訓練…………… 16時10分 ⑥土砂災害訓練場
- 3 終了報告…………… 16時30分



第 42 回専科教育救助科・校長査閲

1 訓練実施隊及びタイムテーブル

各小隊が各訓練想定を概ね 20 分間で順次実施する。

時 間	訓練内容等	実施隊等
13:30	訓練開始報告	総代
13:40～14:00	交通救助	202、203、204
14:10～14:30	火災救助	204、205、206
14:40～15:00	山岳救助	201、207
15:10～15:30	震災救助	201、208、231
15:40～16:00	中州救助	205、206
16:10～16:30	土砂災害	201、202、203、205、207、208、231
16:30	訓練終了報告	総代

2 各訓練の種類及び主な内容

(1) 想定① (交通救助)

普通自動車の衝突事故に伴う交通救助

傷病者 2 名 (車内に閉じ込め、車両の下敷き) に対応した救助活動を実施する。

(2) 想定② (火災救助)

延焼中の住家 2 階ベランダにいる要救助者の救出及び消火活動で負傷した隊員の救出
応急はしご救出による活動及び負傷した隊員救出及び防火衣脱衣による観察までを実施する。

(3) 想定③ (山岳救助)

登山道から転落した要救助者の救出

急峻で起伏に富んだ登山道で、展張ロープを活用した担架搬送を実施する。

(4) 想定④ (震災救助)

地震により倒壊した家屋からの要救助者の救出

狭隘空間へ進入するまでの活動及び要救助者を救出するまでを実施する。

(5) 想定(5) (対岸救助)

大雨による川の増水で対岸に取り残された要救助者の救出

確実迅速な展張ロープの張り込みと、搬送途中も要救助者の観察を継続しながらの救助活動を実施する。

(6) 想定⑥ (土砂災害)

大雨による土砂崩れで生き埋めとなった要救助者の救出

要救助者 1 名 (埋没) の救出を、効率よく継続した活動により安全に泥臭く救出するまでを実施する。